

合資会社 三共建設

令和2年7月4日豪雨災害により被災した、球磨川右岸坂本町中谷地区の護岸復旧工事を当社で施工することになりました。現地調査を行うと様々な問題がありました。現場までの工事車両進入道路も被災しており、災害の爪痕が多く残っていました。

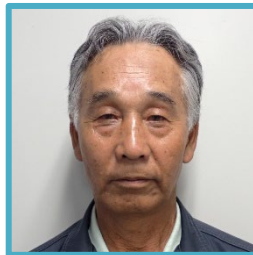
まず、大型車両が通行出来る様に堆積土砂の除去や壊れた舗装路面の補修を行い大型車両の通行が出来るようになりました。3月より本工事に着手しましたが、本年は梅雨入りが例年より早かったため雨の日が多く工事工程に影響がありました。5月中旬の2回にわたる大雨で球磨川は増水し現場も浸水しましたが、幸い被害はなく工事を再開できました。工程短縮のため仮設の変更、プレキャスト製品の使用、現場製作を工場製作に変更など行い工期内に完成できました。

完成するにあたり、協力業者の皆様には大変なご苦勞をかけ作業していただきましたことに感謝します。これからも地域の復興に貢献して参ります。

工事名：R 2 球磨川坂本地区災害復旧その1 工事
(工事箇所：熊本県八代市坂本町中谷地区)



森下 久信



牧本 晶



工事名：R 2 球磨川坂本地区災害復旧その1 工事 (工事箇所：熊本県八代市坂本町西部地区)



中野 雅郎



浦野 直刀

令和2年7月4日豪雨災害により被災した、球磨川左岸坂本町西部地区の護岸復旧工事を当社で施工することになりました。2月より仮設工事に着手しましたが、施工現場は露岩で覆われており油圧ブレイカーによる小割作業に時間が掛かり工事用道路が完了したのは、着手から1ヶ月後でした。工程を短縮するためにプレキャスト製品の使用、二班施工を行いました。特に気を使ったのは、作業員との円滑なコミュニケーションです。作業効率を高めるために材料が過不足なく入荷できるように連絡を密に行いました。当初は資材調達困難な状況でしたが、工程は順調に推移し協力業者の皆様にも助けられながら無事完成できました。これからも地域の復興に貢献して参ります。